

びがいのトビウ



【特集】市民インタビュー

自由な外遊びで五感を刺激

子どもが思いっきり遊べる場を作る P2

はむらプレーパークの会

●平成 31 年度予算審査	P4
●審議した主な議案	
市長提出議案	P10
委員会提出議案	P12
議決結果一覧	P12
●議会活動報告	P15
●市政について問う	
《一般質問》	P16

No.124

令和元年（2019年）
5月1日発行
（通巻 233号）

自

由な外遊びで五感を刺激

子どもが思いっきり遊べる場を作る はむらプレーパークの会



市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思えます。今回は総務委員会が担当しました。

【表紙の写真】
小作台5丁目広場で行われた
放課後ちょこっとプレーパーク
(平成31年3月20日撮影)

はむらプレーパークの会は、平成28年度から30年度まで市と市民活動団体が協働して取り組む「市民提案型協働事業」として採択されました。ゆとりのないが増えている現代で、少しでも子どもたちがのびのびできる場を作りたいとの思いで活動されています。会員の皆さんにお話しを伺いました。

プレーパークとは

関口 英代さん(中2・小5・6歳)



子どもたちが「自分の責任で自由に遊ぶ」をテーマにした活動です。子どもたちがやってみたくらいに挑戦し、大人は口や手を出さずに見守っているのが基本です。

具体的な活動内容は

関口 年数回、堰下レクリエーション広場で火を使って焚き火をし

たり、ロープ遊びをしたりしています。昨年から月1回、小作台5丁目広場で縮小版の「放課後ちょこっとプレーパーク」をしています。その他、子育て関連の講演会や月1回の定例会を開催しています。

活動の魅力・やりがいは

河野 咲季さん(小5・小3)



子どもの頃は思いっきり遊ばせたいが、なかなか今の公園では難しい。プレーパークは自分の子ども

※名前下の() はお子さんの学年・年齢

も楽しんでいて最初はマッチで火をつけていたのが、今は火打石で火をつけられるようになりました。

齋藤 江利香さん(中3)



大人が先回りしてやることで子供の経験の場を奪ってしまう。子

どもができるようになるまで一歩引いて見守ることが大事。子どもから学ぶことが多いです。

関口 市内にはたくさん公園があるが、どこも火の使用は禁止されていて、高学年になるほどできることが限られてきます。「わざわざ遊び場を作るのか」と言われた事もあるが、昔とはいふ環境が違ってきているので活動をしていきます。

永川みつ子さん(中2・小6・小2)



一番のやりがいには、子どもにも「それやっちゃダメ」と言わなくていい空間があること。子どもは、プレーパークがあると知ると、今では何をやるのか事前に計画を立て

ている。自由に解放している子どもを見ていくのが楽しいです。

関口 会場に来てすぐに遊ぶのではなく、何度か来ているうちに遊ぶようになる子もいる。土手を段

ボールで滑るのも、自分の子どもは8回目で初めてやりました。火をつけるのも、だんだんできるようになり、自信に満ちた表情に変わるのを見るとやりがいを感じます。

齋藤 屋内では体験できないものが外遊びにはある。五感全部を刺激する。プレーパークは、いつもダメだと言われていることが認めもらえる場。いろいろな体験をすることでいろいろな刺激を受けることができます。

活動を続ける上での課題は

永川 資金集め(笑)。会員数を増やすことです。

関口 市民提案型事業の助成が3年目となり平成31年春に終了したので、NPO法人にするなども考えています。ゆくゆくは常設化したいが課題も多くなかなか難しい。

永川 子どもたちがふらっと自分のやりたいことができて寄っている場が常にあることが理想。

河野 堰下レクリエーション広場は子どもが一人で行きにくい。子どもが一人で行ける場所できたらいいですね。

齋藤 マンパワーも足りない。こういった場があることを知ってもらい、良いと思ってくれた方がお手伝いしてくれたりいいですね。

他の地域との連携は

関口 西多摩プレーパーク連絡会を作った。講演会の手伝いに来てもらったり、集まって話をしたり。メーリングリストで情報交換をしながらそれぞれの特徴を活かしてやっています。

今後の目標は

永川 「何かをやらなくては」で



インタビューを終えて

はむらプレーパークでは、3年間で2260人の参加者があったそうです。取材を通して、子どもたちだけではなく、保護者同士が繋がったり、気分転換できたりする場になっていると感じました。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

はむらプレーパークの会

会員数 43人
年会費 1家族 1000円
連絡先 578-2455 (関口)

※メール会員に登録した方に情報を送ります(無料)。お名前と連絡先(任意)にひと言添えて hamurappa@gmail.com 宛にメールを送ってください。

ではなく、いてくれるだけでいいのでお父さん・お母さんなどもどんどん参加してほしいです。

関口 市内の公園を回ってプレーパークを開きたいが、まずは会の活動を知ってもらって賛同者を増やしていきたいですね。

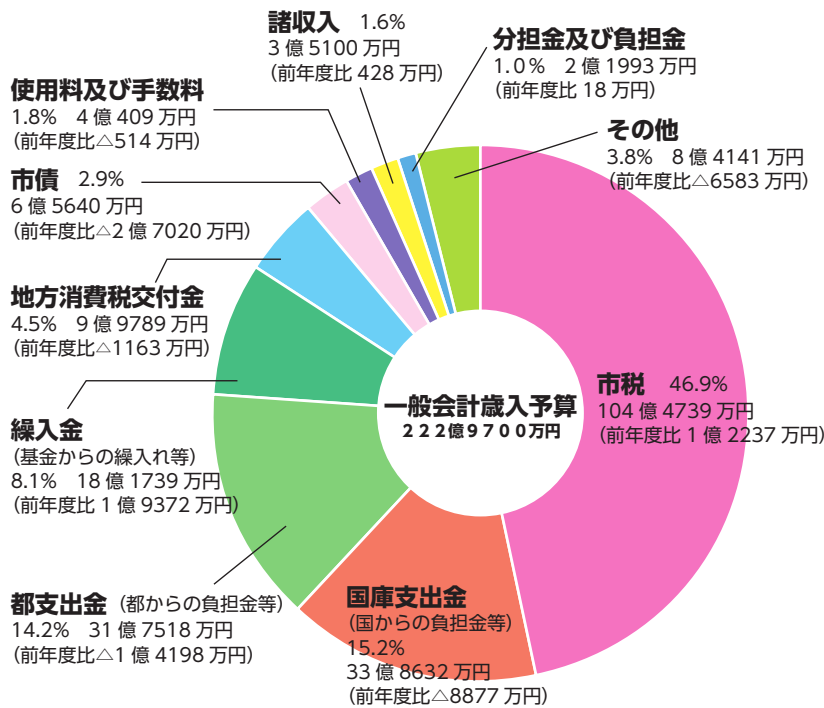
予算審査は、その金額や使い道が市の現状やニーズに応えているか、特別委員会を設置して行うものです。

平成31年度予算について、3月11日から13日まで、議長を除く17人の委員で構成された一般会計等予算審査特別委員会（委員長…山崎陽一議員、副委員長…橋本弘山議員）で慎重に審査しました。

その結果、7つの会計（一般会計と5つの特別会計、公営企業会計）の新年度予算をすべて可決すべきと決定しました。

この特別委員会の審査結果を本会議最終日に報告、一般会計は修正案が出されましたが否決となり、7つの会計すべてを原案のとおり可決しました。

一般会計歳入予算 222億9700万円



歳入のうち、市税収入は、前年度と比較して1億2237万円（1.2%）の増となりました。

一般会計歳入 委員の質疑

- Q** 10月からの幼児教育の無償化による一般会計への影響額は。
- A** 保育園利用者負担金の無償化の影響は、おおよそ6000万円の減額である。
- Q** 市債残高に対する基金残高の割合はどれくらいか。また26市平均は。
- A** 羽村市は11.5%で26市平均の37%を下回っている。
- Q** 法人税の税収見込みに関して、昨年大幅な減額補正をしたが、今回の税収見込みは確実か。
- A** 各企業の業績状況や決算情報



庁舎1階に設置された案内表示板

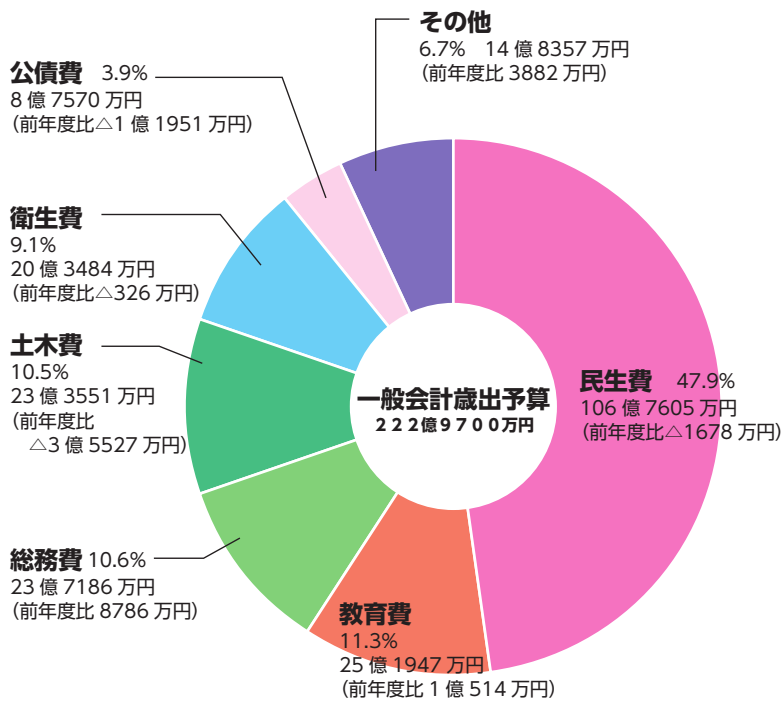
- Q** スポーツセンター使用料と堰下レクリエーション広場使用料が増えている理由は。
- A** スポーツセンターは条例改正して個人使用料を上げた影響。堰下レクリエーション広場は、近年利用が増えていること、駐車場を整備したことによる増を見込み予算を上げた。
- Q** 庁舎使用料の行政財産使用料が平成30年度と比較して倍になっている理由は。
- A** 11月から庁舎内に広告つき案内表示板を設置した。庁舎を使用するため、行政財産使用料として計算した。

依然として厳しい財政状況
1200の事務事業を見直し対象にした

新年度予算を

可決

一般会計歳出予算 222億9700万円



歳出は障害福祉サービス費などの扶助費が、前年度と比較して2億2681万円(3.3%)の増、物件費が1億31万円(3.0%)の増となりました。

財政

Q 公会計制度の活用はどのように考えているか。

A 予算編成や行政評価などに公会計制度で作成した財務書類を活用して、財務マネジメントを強化

一般会計歳出委員の質疑

していく。

福祉・健康

Q 行政のスリム化計画では、コミュニティセンター(じゅらく苑)の休館日の増加が計画されていたが、どうなったか。

教育

A 使用率が100%近い現状を考慮し、休館日は現状のままとした。
Q スイミングセンターのロッカーを防犯上撤去したが、コンクリート基礎部分が一段高く残り危険対策は。

A 目印をつけるなり、ベンチを置くなり今後検討していく。

Q 特色ある学校づくり交付金をもっと使いやすくしてはどうか。

A 狙いをもった計画のもとで事業に取組み、その成果を検証するなど、その都度改善を図っていく。

Q 学力向上のためにも、わかりやすい授業のための準備時間を教員が確保できるようにすべきでは。

A 教員が子どもたちに対して素晴らしい教育ができるように、「羽村市立学校における働き方改革推進プラン」を策定し、推進していく。

子ども・子育て

Q 新生児聴覚検査の公費負担の内容は。

A 一人3千円を公費で負担する。対象の新生児数400人全ての受診を見込んでいる。

Q 2歳児を対象とした幼稚園型一時預かり事業の詳しい内容は。

A 市内幼稚園1園を活用し、月々金曜日午前7時30分～午後6時30分に実施。定員6名。保育認定を受けることが条件。

市民生活

Q はむら若者”輝“会議の平成31年度活動予定と羽村高校との連携事業の内容について。

A 来年度も多摩大学と連携して市や地域の課題を抽出し、市政へ



新生児聴覚検査の受診票



幼稚園型一時預かり事業の実施



羽村高校との連携事業

提言する。羽村高校との連携は、

2年生を対象としてまちづくりワークショップ等を開催する予定。

Q 気象観測装置の導入予定時期と活用方法は。

A 5月中の導入を目指す。地域に密着した情報として熱中症の注意喚起や豪雨情報などの伝達に活用したい。

Q コミュニティバスはむらんの今のルートとダイヤ改正の内容は。

A さくらモールとダイヤ改正の内容による新しいバス停ができたことによるルート変更。ダイヤは、羽村中央コースの福生病院に到着する時刻を早めるなど、全て見直した。

委員の意見（一般会計）

賛成

歳入に見合った歳出とすることへの工夫を期待

新規およびレベルアップなど重要な事業をはじめ、公明党での来年度予算要望の内容も随所に反映されており評価できる。

引き続き、厳しい財政状況が想定されることから、全事務事業の点検・見直しにさらに取り組み、歳入に見合った歳出とする事への創意工夫を期待し賛成とする。

<公明党>

反対

区画整理事業の見直しを行う転機である

厳しい財政状況のもと、必要な施策の充実が図られた一方で、様々な項目の予算を削減・廃止した内容。水上公園プールの休止など、行うべきでないものが含まれている。

多くの市民から反対の声があげられている区画整理事業の見直しを行う転機である。見直しを行わなかった本予算案には反対する。

<日本共産党>

賛成

将来を見据えたまちづくりへの対応予算

一般財源の減少で前年度に引き続き、多額の基金を繰り入れた非常に厳しい状況だが、市民福祉の向上に寄与する施策や、子育て、防災、都市基盤整備など、将来を見据えたまちづくりへの対応が図られた予算である。行財政改革に強力に取り組み、持続可能な財政運営を行っていくことを強く要望し、賛成する。

<新政会>

くらし



気象観測装置の導入



江戸街道公園の新しいバス停



市道第202号線

Q 市道第202号線の三矢会館前付近は、舗装の継ぎ目や段差が多く近隣住民は騒音や振動に悩まされている。改修されるのか。

A 武蔵野小学校から三矢会館付近の間で道路の舗装工事を実施する。

Q 捨て看板除去委託料が計上されていないのはなぜか。

A シルバー人材センターへ委託してきたが、捨て看板の数が減ったため、平成31年度は除去推進員と市職員で実施することとした。

Q 道路維持整備費は、平成29年度から31年度の間で額が大幅に変化した理由と補修計画の達成率は。

A 道路舗装修繕実施プログラム

に基づいて予算化している。平成31年度施工が完了すると25・7%の達成率となる。

Q 道路維持整備に要する経費、街路照明施設整備に要する経費とも大幅に増えているが、平成32年度以降も実施計画に沿って整備を進めていく予定か。

A 市道の補修、街路灯の改修、LED化等、今後も計画に基づいて進めていく。

Q 動物公園の駐車場へ向かう途中、事務所棟裏側の部分がフェンス越しに見えるが見栄えがよい。対策は。

A 整理整頓してきたが、今後も指定管理者と協議して対応していく。

賛成

安全・安心のまちづくりのための予算

羽村駅自由通路の拡幅、川崎街道の歩道整備、気象観測装置の導入、公園高木の剪定など、安全・安心のまちづくりのための費用を予算化している。

厳しい財政状況の中、財政マネジメントの強化に取り組み、公会計制度を有効に活用し、全庁をあげて行財政改革を強力に推進することを期待して、賛成する。

<新しい風>

反対

厳しい財政運営の中 区画整理事業に支出

市民税法人分の増加見込みなど、歳入に改善の兆しがみられるものの、依然として厳しい財政運営である。

行政のスリム化計画では、水上公園の休止、補助金・助成金の廃止や削減など、住民生活に影響がある一方で、区画整理事業には6億2591万円が支出される予算案であるため反対する。

<市民ネットワーク
「いきいき広場」>

賛成

市民の命と未来を守る事業を評価

子育て施策の充実、多様なニーズに応じた教育相談の充実、都市基盤整備の強化等、市民の命と未来を守る事業は評価したい。地域活性化を図るため商工会と連携した新事業は制度設計をしっかりと行い市内の消費拡大に繋がることを求める。引き続き全事務事業の見直しと歳出削減を図ることを求め、賛成する。

<国民・立憲の会>

国民健康保険事業

Q 糖尿病性腎症重症化予防事業の内容は。

A 特定健診データ等から対象者に通知を送付し、保健指導を実施する。

介護保険事業

Q 地域包括支援センターがすべて委託化されたが、市の役割は。

A 3つの地域包括支援センターの連携がとれるように連絡調整と高齢者の支援が充実するようバックアップしていく。



2種類のマンホールカード

西口土地区画整理事業

Q 平成31年度は何棟の移転をするのか。

A 羽村駅前周辺が1棟、川崎1丁目エリアが17棟、羽村大橋周辺が9棟の計27棟を予定している。

Q 擁壁工事で地盤が高くなり、隣接地権者が困惑している。住民や議員への説明は、現状どおりのことではなかったか。

A 事前に権利者へ説明しているが、権利者の考えと合致しない部分もあり、改善策を提案し、誠心誠意対応している。

下水道事業

Q マンホールカードの制作と配布の内容は。

A 2種類のマンホールカードを2000枚ずつ作成する。

委員の意見（西口土地区画整理事業）

反対

判決を受け止め、抜本的な見直しの契機とすべき

東京地方裁判所は、事業計画の資金計画がずさんであり、土地区画整理法、地方自治法、地方財政法に違反しているとの判決を下した。判決を真摯に受け止め、控訴を取りやめ、事業の抜本的な見直しの契機とすべきである。地権者の多くが反対しているが、9億3150万円の予算で事業を継続しようとしており、反対。

<市民ネットワーク

「いきいき広場」>

賛成

土地区画整理審議会に諮りながらスムーズに

平成27年から具体的なハード事業施行に入り、さまざまな形で意見が出るのは当然であり、市の担当者は個別に説明を行っている。

事業を進めるには、土地区画整理審議会に諮りながらスムーズに進展が図られるようお願いする。今後も事業を進めていくための関係各位の努力を期待して、賛成する。

<新しい風>

反対

現道を生かしたまちづくりに見直しを

現在の事業計画の資金計画に無理があるとして裁判所に否定される判決が出された。これを機会に、事業費を大幅に減らせる現道を生かしたまちづくりに見直すことを求める。見直しを行わず、市民の生活に直結した他の予算を削減していくことは、順番が違い、市民の理解が得られないため、反対する。

<日本共産党>

水道事業

Q 水道応援団は、平成31年度どのような活動を行い「羽村の水」をPRしていくのか。

A 水道事業を理解していただくため、施設見学を行い、その後イベント等に参加、ご協力いただく。送水管路二重化基本設計支援業務委託料の内容は。

A 送水管路の二重化に向けて、平成31年度は専門家の支援を受けて、ルートや工法などを検討していく。



平成31年度予算 ～各会計の内訳と前年度との比較～

(単位：万円)

区分	平成31年度 (当初予算)	平成30年度 (当初予算)	増減額	増減率	
一般会計	2,229,700	2,256,000	△ 26,300	△ 1.2%	
特別会計	国民健康保険事業	588,390	595,490	△ 7,100	△ 1.2%
	後期高齢者医療	124,610	120,170	4,440	3.7%
	介護保険事業	373,500	344,410	29,090	8.4%
	羽村駅西口土地区画整理事業	93,150	118,840	△ 25,690	△ 21.6%
	下水道事業	127,980	130,610	△ 2,630	△ 2.0%
	特別会計合計	1,307,630	1,309,520	△ 1,890	△ 0.1%
水道事業（公営企業会計）	163,842	157,533	6,309	4.0%	
全会計の単純合計	3,701,172	3,723,053	△ 21,881	△ 0.6%	

羽村駅西口土地区画整理事業会計については4件の意見がありました。その他の会計については、賛成・反対の意見はなく全会一致で可決すべきと決定しました。

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください。
インターネットで会議録をご覧になる場合は、
「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」
→「平成31年一般会計等
予算審査特別委員会」

賛成

積極的な事業推進のための重要な予算措置

西口地区は、本格的なハード整備に着手して4年が経過。事業を一旦止めることは、協力されている権利者の思いを反故ほごにすることに成り兼ねない。今後も優先整備地区を中心に、着実かつ計画的に事業を推進していくべき。これまでの成果を生かしつつ、関係権利者へより丁寧な対応と効率的な事業の推進を期待し、賛成する。

<新政会>

議

案審議

■3月定例会に市長から提出された議案は、新年度予算案7件（4〜9ページ）のほかに、条例に関する議案11件、補正予算案8件、その他の議案1件の、合わせて26件すべてを可決しました。

■委員会提出議案は、意見書案1件を可決しました。

■議員提出議案は、条例改正案1件を可決しました。

■審査した陳情3件は、1件が採択、2件が趣旨採択となりました。

主な議案の概要は次のとおりです。



市長提出議案

■火葬費の助成を廃止

羽村市火葬費等の助成に関する条例を廃止する条例

健康保険において葬祭費の補助があることから、火葬費の助成を廃止するものです。

【施行日】 平成31年10月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 近隣で火葬費の助成を行っている市町村はあるか。

A 26市では羽村市のみ。他は、瑞穂町が行っている。

討論

反対 葬儀はそれ相応のお金が必要であり、所得の低い人は負担が大きいの。火葬費の助成は継続すべき。
(日本共産党)

賛成 各健康保険組合からの助成があるため、重複してサービスを受けている状況。26市でも羽村だけであるためこの機会に見直すべき。
(公明党)

【主な内容】

- 1 期末・勤勉手当の引き上げ
- 2 初任給の改定
- 3 行政職給料表の改定
- 4 地域手当の引き下げ

■職員の給与を改定

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【施行日】 平成31年4月1日

勤勉手当の改定については平成30年12月1日から適用

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 給与改定による全体の増減額は、
A 勤勉手当の引き上げは年間1664万7千円増、初任給の改定は31万円増、地域手当の引き下げは2229万6千円減。合計で約530万円の減。

■自動交付機を廃止

羽村市印鑑条例等の一部を改正する条例

平成31年9月30日をもって自動交付機を廃止することに伴い、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 平成31年10月1日

【議決結果】 原案可決

— 質疑 —

Q 廃止についての周知方法は。

A 広報はむら、市公式サイトに掲載するほか、チラシを作成して早い段階で全戸配布する予定。

Q 自動交付機を廃止することによって窓口が混みあうのではないかと。職員研修などを徹底し、住民票等の交付をスムーズにして、お待たせしないようにしたい。

— 討論 —

【反対】 市民の利便性を大きく損なう可能性がある。区画整理事業には触れず、市民サービスの低下につながる事業の廃止は反対。

(日本共産党)

賛成

土日窓口開庁やマイナンバーカードを利用したコンビニ交付など、同じ目的のサービスがあるため、見直しは賛成。(公明党)

【反対】

住民サービスの低下に加え、マイナンバーカードの取得を誘導するものであり反対。(市民ネットワーク「いきいき広場」)

■区画整理事業に関する訴訟の控訴に伴う弁護士料を増額

平成30年度羽村市一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ610万円を追加し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ231億1840万円とするものです。

【内容】

歳入：繰入金 財政調整基金からの繰入額を増額

歳出：総務費 控訴に伴う費用として訴訟弁護士料を増額

【議決結果】 原案可決

— 質疑 —

Q 弁護士料の内訳は。

【A】

着手金540万円、その他控訴状に添付する印紙代、裁判所へ予納する郵券代である。

Q 訴訟費用は被告の負担になる。どのくらいになるか。

A 控訴すると判決の効果が遮断されるため、1審判決での訴訟費用は、控訴審の判決で示される。

Q 平成31年度中に新たな資金計画、事業施行期間などが決定するのか。

A 平成32年度を用途に平成31年度中には東京都と協議を進めながら市として方向性を決めていく。

— 討論 —

【反対】 現事業計画は、非現実的で実現不可能なもの。暫定計画から5年目になるが、新しい事業計画は発表できていない。判決を受け止めて実現可能なものへと事業を見直すべきであるため、弁護士費用の追加は認めない。(日本共産党)

【賛成】

平成27年度から優先整備地区で工事が進んでいる。早期の完成に力を注ぎ、後戻りや中断をすべきではない。(新政会)

【反対】

違法事業に対する市民の貴重な税金の投入は認められない。区画整理事業は、権利者だけでなく全市民に大きな負担を課しており市政の悪化を招いているため、中止、見直しを求める。(世論)

【賛成】

良好な西口地区の整備は、生活面や防災面からも必要な事業である。事業の進展は当然の流れと判断し、控訴は必要であるため、賛成。(公明党)

【賛成】

西口土地区画整理事業は市の発展のために重要な事業である。引き続き事業を計画的かつ着実に推進し、権利者の期待に応えられるよう控訴の手続きを進めるべき。(新しい風)

委員会提出議案

意見書を提出しました

アスベスト被害者補償基金制度の創設とアスベスト被害者の早期救済・全面解決を求める意見書（抜粋）

アスベスト（石綿）を建築物などに用いたことによるアスベスト被害は、多くの建設作業従事者や国民に広がっている。

建設現場においてアスベストを吸い込み、肺がんや中皮腫などを発症した元労働者と遺族が、国と建材メーカーに損害賠償などを求めた建設アスベスト訴訟では、全国6つの地方裁判所、東京及び大阪高等裁判所において、国の責任を認める判決が出された。

このような、被害者や遺族が求める補償に対応するため、国の拠出金を原資とした「アスベスト被害者補償基金制度」を創設するとともに、アスベスト被害者の早期回復を図るために、アスベスト対策の早期充実を要望する。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、環境大臣

【議決結果】

原案可決

市長提出議案の議決結果

議案の議決結果

＜全会一致となった議案＞

議案	議決結果
平成30年度羽村市一般会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ7080万円を減額し、補正後の予算額を、歳入歳出それぞれ231億1230万円とする。	原案可決
平成30年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ2559万9千円を増額し、補正後の予算額を、歳入歳出それぞれ63億1573万9千円とする。	
平成30年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ2194万4千円を増額し、補正後の予算額を、歳入歳出それぞれ12億4435万6千円とする。	
平成30年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ514万7千円を増額し、補正後の予算額を、歳入歳出それぞれ36億9250万円とする。	
平成30年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ20万1千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ12億5580万9千円とする。	
平成30年度羽村市下水道事業会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ7967万2千円を減額し、補正後の予算額を、歳入歳出それぞれ12億4034万7千円とする。	
平成30年度羽村市水道事業会計補正予算(第3号) 【収益的収入及び支出】 (収入)165万7千円増額し、予算額を11億3342万8千円とする。 (支出)803万1千円増額し、予算額を8億5172万6千円とする。 【資本的収入及び支出】 (収入)966万6千円減額し、予算額を1億2733万5千円とする。 (支出)2045万9千円減額し、予算額を7億2638万8千円とする。	

議案	議決結果
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 P10参照	原案可決
羽村市長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例 市長、副市長及び教育長の給料についての減額措置を平成32年3月31日まで延長するため、条例の一部を改正する。	
羽村市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 学校保健安全法の規定に基づき委嘱している学校医及び学校薬剤師の報酬単価を見直すため、条例の一部を改正する。	
羽村市給水条例及び羽村市下水道条例の一部を改正する条例 消費税率等が改正されることに伴い、水道料金及び下水道使用料の算定方法を変更するため、条例の一部を改正する。	
羽村市児童育成手当条例等の一部を改正する条例 所得税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴い、関係する条例の一部を改正する。	
学校教育法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例 学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係する条例の一部を改正する。	
羽村市住宅資金融資条例を廃止する条例 羽村市住宅資金融資制度を廃止するため、条例を廃止。	
羽村市森林環境譲与税基金条例 森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）の創設に伴い、森林環境譲与税基金を設置する必要があることから条例を制定する。	原案同意
人権擁護委員候補者の推薦について 任期満了に伴い、次の者を委員の候補者として推薦するために、議会の意見を求める。 氏名 木村 兼江氏 任期 平成31年7月1日～平成34年6月30日	

凡例

- 各会派の賛否 ■ 議案 / ○…賛成 ×…反対
- 陳情 / ○…採択 ×…不採択 □…趣旨採択
- 会 派 名 ■ 新…新国会 公…公明党 民…国民・立憲の会 風…新しい風 共…日本共産党
- ネ…市民ネットワーク 「いきいき広場」 21…羽村21 リ…リフレッシュ羽村 世…世論

<賛否の分かれた議案>

議案	会派名 (数字は人数)									議決結果
	新	公	民	風	共	ネ	21	リ	世	
	(4)	(4)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
平成 30 年度羽村市一般会計補正予算 (第 5 号) P 11 参照	○	○	○	○	×	×	×	○	×	原案可決
羽村市印鑑条例等の一部を改正する条例 P 11 参照	○	○	○	○	×	×	×	○	×	原案可決
羽村市火葬費等の助成に関する条例を廃止する条例 P 10 参照	○	○	○	○	×	×	○	○	×	原案可決

<平成 31 年度予算>

平成 31 年度予算 (詳細は P 4 ~ P 9 をご参照ください)	会派名 (数字は人数)									議決結果
	新	公	民	風	共	ネ	21	リ	世	
	(4)	(4)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
一般会計予算	○	○	○	○	×	×	×	○	×	原案可決
羽村市国民健康保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市後期高齢者医療会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市介護保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計予算	○	○	○	○	×	×	×	○	×	原案可決
羽村市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

■委員会提出議案の議決結果

委員会提出議案	議決結果
アスベスト被害者補償基金制度の創設とアスベスト被害者の早期救済・全面解決を求める意見書 P 12 参照	原案可決

■議員提出議案の議決結果

議員提出議案	議決結果
羽村市議会委員会条例の一部を改正する条例 羽村市組織規則の改正に伴う常任委員会の所管の変更等により、条例を一部改正する。	原案可決

■陳情の審議結果

陳情	審査した委員会	会派名 (数字は人数)									本会議での議決結果
		新	公	民	風	共	ネ	21	リ	世	
		(4)	(4)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
アスベスト被害者補償基金制度の創設と全面解決を国に働きかける意見書提出を求める陳情書	厚生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
介護保険制度の改善を求める陳情書	厚生	□	□	□	□	□	□	□	□	□	趣旨採択
後期高齢者医療の一部負担金の割合を引き上げないよう求める陳情書	厚生	□	□	□	□	□	□	□	□	□	趣旨採択

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継 (3月5日・19日分) または会議録でご覧いただけます。
◆インターネットで会議録をご覧になる場合は、「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」→「平成 31 年第 1 回定例会」

会派名簿

新政会 いん なみ しゅう た とみ まつ 修太 富松 崇 はし ちと ひろ たか 橋本 弘山 たき しま よし お 瀧島 愛夫	公明党 なか じま まさる とみ なが のり まさ 中嶋 勝 富永 訓正 にし かわ み さ ほ 西川美佐保 いし い ひさお 石居 尚郎	国民・立憲の会 おお つか あかね はせ ひら こう ぞう 大塚あかね 馳平 耕三	新しい風 たか だ かず と こ みや くに あき 高田 和登 小宮 國暉	日本共産党 はま なか じゅん すず き たく や 浜中 順 鈴木 拓也	市民ネットワーク 「いきいき広場」 もん ま ひで こ 門間 淑子
		羽村21 みず の よし ひろ 水野 義裕	リフレッシュ羽村 はま なか とし お 濱中 俊男	世論 やま ざき よう いち 山崎 陽一	

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。



議会事務局

市役所西庁舎の4階に上がって、まずあるのが議会事務局。請願・陳情の受付、委員会の傍聴受付や議会についてのお問合せなども承ります。



傍聴席



議場

議会活動の中心となる本会議が行なわれます。議員と市の職員が対面で座り、様々な質疑や答弁、意見の表明などを行います。

議会 施設案内

市議会にどんな施設や会議室があるかご存じですか。市議会の主な施設をご案内します。



委員会室

市役所西庁舎5階にあります。3つの常任委員会（総務・経済・厚生）、議会運営委員会が行われます。



特別委員会室

予算審査や決算審査、その他の特別委員会が行われます。また、議員全員で協議する場合などにも使われます。

本会議や委員会は傍聴することができます。ぜひお越しください。

議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

平成31年2月1日～4月30日の主な活動

2月

- 1日 平成30年度第2回官公署等連絡協議会
- 4日 平成31年第1回瑞穂斎場組合議会定例会
- 5日 全国市議会議長会基地協議会第93回理事会
・第82回総会
- 8日 第57回東京都市議会議員研修会（府中の森芸術劇場）「東京の自治と市議会の役割」
- 14日 平成31年第1回西多摩衛生組合議会定例会
- 15日 西多摩地域広域行政圏協議会審議会
- 19日 平成31年第1回議会運営委員会
東京都市町村議会議員公務災害補償等組合議会定例会
東京都市議会議長会定例総会
- 20日 平成31年第1回羽村・瑞穂地区学校給食組合議会定例会
5市1町議長会基地対策情報交換会
- 21日 平成31年第1回福生病院組合議会定例会
平成31年第1回東京たま循環組合議会定例会
東京たま広域資源循環組合議会第4ブロック会議
- 22日 平成31年第1回青梅、羽村地区工業用水道企業団議会定例会
- 27日 平成31年第1回羽村市議会（定例会）初日
- 28日 平成31年第1回羽村市議会（定例会）2日目

3月

- 1日 平成31年第1回羽村市議会（定例会）3日目
- 4日 平成31年第2回議会運営委員会
一般会計等予算審査特別委員会（補正予算）
- 5日 平成31年第1回羽村市議会（定例会）4日目
- 7日 平成31年第1回経済委員会
平成31年第1回厚生委員会
平成31年第1回総務委員会
- 8日 平成31年第2回厚生委員会
- 11日 一般会計等予算審査特別委員会（当初予算）
- 12日 一般会計等予算審査特別委員会（当初予算）
- 13日 一般会計等予算審査特別委員会（当初予算）
- 15日 平成31年第3回議会運営委員会
- 18日 平成31年第2回広報委員会
- 19日 平成31年第1回羽村市議会（定例会）最終日
- 26日 平成31年第1回羽村市土地開発公社評議員会

4月

- 4日 東京都市議会議長会監事会
- 9日 平成31年第3回広報委員会
- 10日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会監事会
- 23日 東京都市議会議長会理事会・臨時総会

般質問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。

第1回定例会では、15人の議員が、

2月27日、28日、3月1日の3日間にわたり

一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。



《Q》特定不妊治療の所得制限を905万円に拡大を

《A》都の緩和が実施される場合、市でも緩和する

西川 美佐保 議員（公明党）



不妊治療への支援拡大を

晩婚化や晩産化が進む日本で、不妊の検査や治療を受けたことがある夫婦は約5・5組に1組ともいわれている。特定不妊治療にかかった費用は平均で約193万円という結果もある。3人に2人は金銭面の負担が重いと感じるとのアンケート調査の結果から、更なる支援が必要と考える。

質問 過去5年間で、市の特定不妊治療の助成金を活用された人数は。

市長 平成25年度から平成29年度までの5年間で、延べ174人の方が利用された。
質問 東京都では、不妊検査、一般不妊治療（薬物療



保健センターで配布している不妊治療に関するパンフレット

法、人工授精等）の助成の対象を妻の年齢が35歳未満から40歳未満へ拡充すると聞いているが、市の対応は。
市長 都では、一般不妊治療に要した費用に、夫婦1組1回に限り、5万円を上限に助成している。市民の皆様から相談があった場合は、都の事業を紹介している。
質問 都では特定不妊治療への所得制限を730万円から905万円まで拡大する動きと聞いている。市でも所得制限等条件を都に合わせ拡大すべきでは。

市長 都で所得制限の緩和が実施される場合は、市においても同様に所得制限の緩和を適用していく。

質問 市でも更なる支援策が必要では。

市長 他自治体の動向なども調査・研究する。

■その他の質問

「風しん及びインフルエンザの感染症対策について」

「毎月勤労統計調査等の不適切問題に関する

影響と対策について」



《Q》明日の羽村を築くため羽村駅西口周辺の活性化を

《A》民間による共同ビル化・支援制度の導入等検討

小宮 國暉 議員（新しい風）



明日の羽村を築くため 羽村駅西口周辺の活性化に 向けて

西口駅前周辺は、市の玄関口として、身近な生活圏における日常生活の利便性やコミュニケーションの場として、極めて重要な場であり優先的整備促進が必要。
質問 今後、現在の換地計画にこだわらず思い切った見直しを考慮に入れ、区画整理事業範囲を駅前周辺的に絞る等の打開策を見出す必要があると考えるが。



羽村駅自由通路拡幅現況

に、市街地再開発事業等の導入の検討。また、民間による共同ビル化の支援制度の導入や公共施設を含めた複合施設化への誘導などの検討を行い、優先度の高いエリアとして整備していく。

質問 「建物の移転、補償及び工事等」の実施にあたっては、施工地区内及び隣接の住民を対象に事前説明会を開催すべきでは。

市長 施工範囲ごとの説明会を実施し、理解・協力を求めている。

質問 羽村駅自由通路拡幅後のスペース利用について、付加価値の高い有効な活用方法を考えているか。

市長 拡幅後のスペース利用は、市内公共施設等の案内表示やイベントなどの情報発信の場として活用するほか、社会活動や市民活動等の展示場としても広く利用していく。

■その他の質問
「明日の羽村に向けて行財政改革と健全財政への再構築」



《Q》羽村が消費者運動の先駆の地であることの周知を

《A》消費生活センターを記事や番組に取り上げ周知する

高田 和登 議員（新しい風）



消費生活センターの さらなる充実について

質問 羽村が消費者運動の先駆の地であることをテレビはむらや広報で、特集を組んで周知すべきでは。

市が無料で貸与している自動通話録音機は極めて有効と考える。希望者には設置のサービスを検討しては。

市長 今後も消費生活センターの活動を記事や番組に取り上げ周知する。

質問 外国人への対応について

質問 昨年の消費者展で取上げたプラスチックゴミが世界的に海洋汚染の原因になっていることを市民に周知すべきでは。

市長 平成31年2月1日現在、市内在住の外国人住民の人数は1393人で、国籍別の上位5位は、ペル

市長 消費生活センターだより等による啓発のほか、環境フェスティバル等での周知についても検討する。
質問 特殊詐欺被害の予防について
特殊詐欺被害防止に

336人、フィリピンが293人、中国が211人、ベトナムが97人、韓国が94人である。
質問 甲賀市では74言語に対応しているAI通訳機を試験的に配置した。市でも検討すべきでは。

市長 今後、AI翻訳機などの導入も研究する。



1974年（昭和49年）羽村町消費生活センター



《Q》自転車保険加入義務化に対し市の考えは？

《A》東京都条例を周知し、加入を促す。

大塚 あかね 議員（国民・立憲の会）



生活に密着した交通手段である自転車

自転車保険加入に向けた取り組み

自転車事故は近年増加傾向にあり、高額な賠償を求められるケースも発生している。このことから、自転車損害賠償保険等への加入義務化を促す条例を制定する自治体も現れている。

質問 自転車損害賠償保険等について市の認識は。

市長 被害者救済、加害者の賠償責任の担保等の観点に立っているものであり、重要であると認識している。

質問 自転車損害賠償保険等への加入義務付けを促す取り組みを進めてはどうか。

市長 東京都条例において自転車損害賠償保険の加入

努力義務が規定されているので、これを周知することで市民に加入を促していく。

外国人材受け入れ拡大に対し、羽村市への影響と対応について問う

質問 入管法改正による、羽村市における外国人労働者人口の動向は。

市長 国の受け入れ規模は5年間で34万5150人とされていることから、直ぐに影響は無いと捉えている。

質問 外国人が安心して働き、市民として共に生きていける多文化共生社会の実現に向けた市の取組みは。

市長 第5次長期総合計画に基づき、引き続き外国人住民の支援を行う団体と連携をとりながら、様々な事業を展開し、共生社会の構築に取り組んでいく。

■その他の質問
「郷土博物館の更なる事業の充実を望む」



《Q》各事業の縮小だけではなく縮充へむけての取組みは

《A》支え合い助け合う社会を築いていく取組みが必要

富永 訓正 議員（公明党）



市の財政をどのように立て直していくか

経常収支比率が2年連続で100%を超え、市の財政状況は非常に厳しい。この状況から脱却し、市民とともに、これからの羽村市の未来への軌道をしっかりと作り上げる必要がある。

質問 市民へのわかりやすい財政状況の説明は。

市長 財政の硬直化が進んでいる等についても、広報はむらなどより分かりやすい説明に努める。

質問 歳入に見合う歳出への取組みは。

市長 当該年度の歳入で当該年度の歳出を賄える財政

構造を目指していくことが重要。安定的な歳入の確保、事務事業の点検・見直しの取組みをさらに進めていく。

消費税率UPに伴う市での取組みについて

東京都や国での消費税増税対策の市民への周知をどう図り、景気対策、生活者支援対策等への準備をどうするか。

質問 市での消費税対策の全体像をどう考えるか。

市長 国の財政支援のもと、市が主体となる事業は、国の補助等を十分に活用し、適切な取組みを進めていく。

他の対策等も混乱や不安が生じることのないよう広く周知に努めていく。

学校体育館へのエアコン設置はどうなるのか

質問 その取り組みは。

教育長 東京都の補助制度の動向を注視し、補助金の活用を図りつつ、計画的で効果的なスポット式エアコンの導入に向けて取り組む。



行財政改革関連の資料

《Q》喫煙場所の再選定やパネルで覆う等の抜本的改善を 《A》小作駅東口にハウスタイプの喫煙所を設置する

中嶋 勝 議員（公明党）



駅周辺等公衆喫煙場所での 受動喫煙対策の強化を

受動喫煙対策の強化を

自分の意思に反して喫煙状態になる、受動喫煙への対策を強化すべきと考える。

質問 公衆喫煙場所においての課題は何か。
市長 周辺にお住いの方から、たばこの煙や臭いに関する苦情が寄せられている。

質問 場所の再選定やパネルで覆う等の抜本的改善を。
市長 小作駅東口に周囲や天井を覆うハウスタイプの喫煙施設を設置する。羽村駅東口は民有地所有者と対策について交渉している。

質問 喫煙者への配慮も必要では。
市長 共存できる環境へ分煙化を推進していく。

質問 防犯カメラの設置台数と映像提供依頼数は。
市長 駅周辺に15台、通学路に12台、その他公園等に10台で、年平均16件の映像提供依頼がある。

質問 福生警察署の取り組みをどう聞いているか。
市長 通学路や公園等へ防犯カメラの設置促進に努めているとのこと。

質問 市として通学路や公園周辺に焦点を当て、設置を進めるべきでは。
市長 市民の皆様からの要望をお聞きしながら、福生警察署や関係団体の意見を参考にカメラの設置を判断していく。

質問 街路灯の設置要望にはどう応えているか。
市長 年平均14件の要望がある。その必要性や優先度を判断し、随時設置をしていく。

質問 街路灯の設置要望にはどう応えているか。
市長 年平均14件の要望がある。その必要性や優先度を判断し、随時設置をしていく。

質問 街路灯の設置要望にはどう応えているか。
市長 年平均14件の要望がある。その必要性や優先度を判断し、随時設置をしていく。



小作駅東口の喫煙場所

■その他の質問
「森林環境譲与税の活用について」



より一層の 防犯対策の強化を

防犯対策の強化を

自分の意思に反して喫煙状態になる、受動喫煙への対策を強化すべきと考える。

質問 防犯カメラの設置台数と映像提供依頼数は。
市長 駅周辺に15台、通学路に12台、その他公園等に10台で、年平均16件の映像提供依頼がある。

質問 福生警察署の取り組みをどう聞いているか。
市長 通学路や公園等へ防犯カメラの設置促進に努めているとのこと。

質問 街路灯の設置要望にはどう応えているか。
市長 年平均14件の要望がある。その必要性や優先度を判断し、随時設置をしていく。

質問 街路灯の設置要望にはどう応えているか。
市長 年平均14件の要望がある。その必要性や優先度を判断し、随時設置をしていく。

質問 街路灯の設置要望にはどう応えているか。
市長 年平均14件の要望がある。その必要性や優先度を判断し、随時設置をしていく。

《Q》SDGsを羽村市の基本構想に 《A》計画策定の段階で普及できるように検討する

石居 尚郎 議員（公明党）



SDGs（持続可能な開発目標）を羽村市の基本構想に

SDGs（持続可能な開発目標）を羽村市の基本構想に

質問 ※SDGsを研究し総合計画等に反映させ講習会等を実施しては。
市長 次期の長期総合計画策定の段階でSDGsの主旨等についても普及することができるよう検討していく。

質問 LINEなどSNSを活用した情報伝達や相談を充実しては。
市長 SNSによる情報発信は、若者に対する情報伝達手段として有効。用途や効果を整理し、調査・研究する。

質問 民間の移動販売サービス事業に対して、どのような支援をするのか。
市長 今後の社会経済情勢の変化や市民ニーズの変化を見ながら、適時・適切に対応できるように、調査・研究していく。

質問 今後の社会経済情勢の変化や市民ニーズの変化を見ながら、適時・適切に対応できるように、調査・研究していく。

質問 今後の社会経済情勢の変化や市民ニーズの変化を見ながら、適時・適切に対応できるように、調査・研究していく。

質問 今後の社会経済情勢の変化や市民ニーズの変化を見ながら、適時・適切に対応できるように、調査・研究していく。

質問 今後の社会経済情勢の変化や市民ニーズの変化を見ながら、適時・適切に対応できるように、調査・研究していく。



SDGsのロゴマーク

※SDGs（エスディージーズ）
…2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されている。



早い周知が必要。市の実施予定と方法は。
市長 保護者の皆様に対して丁寧な周知、説明が必要と考える。広報はむらや市公式サイトで周知、その後保護者説明会を開催したい。

質問 保護者への支払いは現物給付が望ましいのでは。
市長 基本的に現物給付が望ましいと捉えている。

質問 民間の移動販売サービス事業に対して、どのような支援をするのか。
市長 今後の社会経済情勢の変化や市民ニーズの変化を見ながら、適時・適切に対応できるように、調査・研究していく。

質問 今後の社会経済情勢の変化や市民ニーズの変化を見ながら、適時・適切に対応できるように、調査・研究していく。

質問 今後の社会経済情勢の変化や市民ニーズの変化を見ながら、適時・適切に対応できるように、調査・研究していく。

質問 今後の社会経済情勢の変化や市民ニーズの変化を見ながら、適時・適切に対応できるように、調査・研究していく。

質問 今後の社会経済情勢の変化や市民ニーズの変化を見ながら、適時・適切に対応できるように、調査・研究していく。

《Q》平成31年度の学童クラブ待機児童数は

《A》2月20日現在、9人である

富松 崇 議員（新政会）



次代を担う子ども

育成について

放課後子ども教室について
質問 放課後子ども教室の開室日が学校によって異なっている理由は。

市長 児童数、使用可能な余裕教室や体育館、校庭などの状況に差があることによるものである。

質問 利用する子どもたちへは同条件の支援を提供すべきと考えるが、いかがか。

市長 平成31年度からは、週2日実施する学校を1校増やす予定である。引き続き、創意工夫をしながら、全小学校週2日開室に向けて、取り組んでいく。



市内の学童クラブ

学童クラブについて

質問 市内12箇所の学童クラブのうち、土地や建物を借上げている場所の年間借上料はどのようになっているのか。

市長 借上料は、平成30年度の決算見込額で、514万6千円である。放課後子ども総合プランについて

質問 「放課後子ども総合プラン」についてどのようになっているのか。

市長 市内には大手企業や大規模商業施設が進出する計画があることや幼児教育・保育の無償化の実施により、就業者が増加し、放課後子ども教室や特に学童クラブの需要の増加が見込まれる。まずは、学童クラブの市民ニーズを適切に見極めながら、学校を含め、公共施設や民間事業所の活用について、検討していく。



《Q》防災行政無線で「火災の事実なし」が増えているか

《A》平成30年は火災発生4件、事実なし7件である

水野 義裕 議員（羽村21）



防災行政無線による

広報について

質問 最近、「火災の事実」はなかったが多いようだが、ここ3年の「火災発生」通報と「事実」はなかったの件数は。

市長 平成28年が火災発生通報12件、事実なし8件、29年が火災発生通報12件、事実なし3件、30年が火災発生通報11件、事実なし7件。

質問 『なかった』の原因と対策は。

市長 原因は、火災報知器を誤って押した、火災報知器の誤作動、料理などの煙を誤認等。誤報を減らす効果的な方策等は、福生消防署とも協議しているが、現在のところない。火災への

迅速な対応の面からは、「通報をためらってしまふ」のではなく「通報すること」の大切さや必要性を、広く周知していく。

質問 防災行政無線への市民の声とその対策は。

市長 「聞き取りにくい」については、フリーダイヤルによる放送内容の確認やメール配信サービスの利用を勧めている。「音がうるさい」については、周知内容の重要性・緊急性などをご理解いただくよう説明に努めている。火災の事後放送については、午後9時から午前6時まではメールの配信とし、放送は控えている。今後、防災行政無線のデジタル化への移行の際にも難聴地域の把握・解消などに努めていく。



防災行政無線

■その他の質問
 「財政の健全化に向けた方策は」「教職員の働き方改革などについて」



《Q》市内に居住する外国人世帯数は

《A》外国人のみ世帯 657、日本人と外国人世帯 337

橋本 弘山 議員（新国会）



外国人住民や 外国人労働者の受け入れ と共生について

質問 外国人住民に対する市の課題は何か。

市長 外国人住民が暮らしやすいまちづくりを進めるための国際化の推進や多文化共生に向けた取り組みをさらに推進することが必要である。

質問 外国人労働者の受け入れ拡大は市と該当企業との連携が必要ではないか。

市長 外国人労働者の雇用は今後増加が予想されるため、その動向について注視し、密接な連携による取り組みを進めていく。

質問 今後、共生社会をどう捉え、構築していくのか。

市長 外国人住民の支援を行う市民活動団体との連携による日本語指導や多文化共生の理解促進講座、語学ボランティアの育成講座などの事業を展開していく。

平成31年の 諸課題について

質問 元号改元に向けたシステム改修等の準備は。

市長 窓口業務の住民情報システム改修は、ほぼ終了し、適用作業や確認作業を順次行っている。3月下旬には本番環境への適用を行う。

質問 譲与される森林環境譲与税の活用は。

市長 基金を創設し、積立で、保存樹林地の整備や公共施設等における木製品の整備などに活用していく。



森林環境譲与税の活用が見込まれる森林等の整備



《Q》区画整理事業は財政負担を減らす協議を

《A》平成31年度中には機関決定をしていく

印南 修太 議員（新国会）



持続可能な魅力あふれる 羽村市を次世代へ

質問 今後3か年の財政健全化に向けてどのような取り組みをするのか。

市長 歳入・歳出の両面から行財政改革に取組み、事務事業の点検・見直しなどをさらに進めていく。

質問 自然休暇村を民間事業者に売却か譲渡すべきではないか。

市長 現在の指定管理者の委託期間が終了する平成32年度までには、今後の方向性を示していきたい。

質問 土地区画整理事業は、財政負担を減らす協議を今年5月からはじめてはどうか。

市長 平成33年度までを事



区画整理区域内で移設されたしらうめ保育園

業期間として設定していることから、「事業期間の延伸」「資金計画の見直し」について、国、東京都と継続的に協議を進めている。

平成32年度を中途として、平成31年度中には事業計画に位置付けている「事業期間」や「総事業費」等について、市として機関決定をしていく。

質問 工業化に続く最先端医療分野の産業振興により、どのような街の活性化を描いているか。

市長 現在、神明台2丁目地区において施設建設中であるニプロ株式会社は、これまでになかった新たな業態の企業であり、従業員の市内への流入、関連する事業所の進出、雇用や消費喚起、定住促進などへの効果が予想される。こうした新たな進出企業と連携を図り、周辺環境に配慮しながら、さらなる賑わいと活力の創出を図っていく。



《Q》西口事業で取得した土地の面積と費用は

《A》昨年末で4万500㎡、45億9千万円である

門間 淑子 議員（市民ネットワーク「いきいき広場」）



都市計画道路3・4・12号線の擁壁工事

羽村駅西口区画整理は
具体的な見通しを示すべき

質問 平成31年度中に何を機関決定するのか。

市長 事業期間を平成33年度までと設定しているので、事業計画の変更を国や東京都と協議している。平成31年度中には、事業期間や総事業費等を決定する。

質問 市長は「お金の有る無しで実施するか否かを判断する事業ではない」と発言した。西口区画整理は行財政改革の対象外か。

市長 市の将来像を実現するために、財政状況を考慮しながら実施して行く事業であると判断しており、対象外ではない。

質問 副読本には「放射線による健康被害はない」と表記している。原発事故当時、12歳から18歳だった子ども233名が甲状腺がんになっている。羽村市も原発事故による健康被害はないとの立場か。

教育長 「安全や健康を守るため避難指示を出した」との記載があり、影響がないとは考えていない。

放射線副読本は
どのように使われているか

質問 平成30年度版「放射線副読本」は、どのように届けられ、どのように使われているか。

教育長 小学校に2936冊、中学校に1392冊、教員用に247冊が、11月下旬に文部科学省から直接配送された。小学校では学級での地震や災害に関する安全指導、中学校では理科の放射線の性質と利用などの学習に使用した。いじめに関する授業を行った学校もある。



《Q》地権者への暴言、強要が続く。答弁に反しないか

《A》権利者の受け止め方による。今後も丁寧に対応する

山崎 陽一 議員（世論）



区画整理撤回要求第48弾
ずさんな事業を問う

質問 事業費は確実な金額をの規程に反しないか。

市長 事業計画と進捗状況に差があり、資金計画見直しを国・都と協議中である。

質問 J・R羽村東部踏切の木製歩道は摩滅して危険だ。職員が日々点検補修、を答弁していたが。

市長 舗装面の劣化が著しく、職員での補修が難しいので2月21日に、舗装打替え及び遮熱性塗装を施した。

質問 『建物移転・補償の案内』に行政不服審査請求の記載が、いまだにないが。

市長 増刷時に調整する。

質問 地権者に対する暴言、強要が続く。『地権者に寄り添った真摯な対応』の市長答弁に反しないか。

市長 権利者それぞれの受け止め方による。今後もしっかり丁寧な対応に努める。

質問 地区内の新築棟数と新規転入者の建築条件、制限はあるか。

市長 新築数は従前地89棟、仮換地先8棟、合計97棟。土地区画整理法第76条に基づく「建築行為等の制限」を受け市長の許可が必要である。

質問 事業計画見直しのタイムスケジュールは。

市長 財政状況を勘案し現在、事業期間延伸と資金計画の見直しを国、都と協議中。平成31年度中に市として決定する。

広報はむらの市長新春挨拶 その真意を聞く

質問 市の課題は何か。

市長 「一般財源の減少」「扶助費の増加」「人口減少と高齢化」「公共施設等の老朽化」など他自治体と同様に多くの課題を抱えている。



J・R踏切のすり減って危険な木製歩道

《Q》羽村駅ホームに待合室を設置すべきでは

《A》今年度中に設置されることになった

鈴木 拓也 議員（日本共産党）



4年間をふり返って、再度問う

再度問う

質問 羽村駅に待合室、市民団体掲示板、ブックポスト、期日前投票所などを設置すべきではないか。

市長 待合室は今年度中に設置されることになり、工事がすすめられている。通路拡幅後のスペースは、市民活動等の情報発信の場として利用するなど、様々な検討していく。

質問 住宅リフォーム補助制度を実現すべきではないか。
市長 平成29年度に創設した際に、次世代住宅化改修工事などのメニューを加えた。



羽村駅構内の待合室

質問 少子化対策の一つとして、学校給食費の無償化をおこなうべきではないか。

教育長 低所得の世帯には給食費を公費負担していることなどから、検討していない。

質問 江戸街道公園の早期整備の見通しはどうなったか。
市長 庁内で調査・研究をすすめている。今後、町内会などにもご意見を伺いながら方向性を決定していく。

質問 羽村駅西口区画整理事業は、「現在の道路を生かしたまちづくり計画」に変更し、駅前と3・4・12号線はいち早く整備すべきでないか。
市長 土地利用の増進にとって最も有効な土地区画整理事業を前提として、着実な整備を重ねていく。

市長 土地利用の増進にとって最も有効な土地区画整理事業を前提として、着実な整備を重ねていく。

■その他の質問
「木造住宅の耐震化を促進するために問う」



《Q》水上公園は休止の検討前に子どもの意見を聞いたか

《A》市民への説明やお知らせを丁寧に行う

浜中 順 議員（日本共産党）



行政のスリム化は市民の意見を聞き、慎重に

質問 日々の生活を支えてきた予算は、簡単に削るべきではない。水上公園も子どもたちの期待は高い。休止の検討前に子どもたちの意見を聞いたのか。また、どう説明するのか。
市長 プールの休止にあたっては、市民の皆様への説明やお知らせを丁寧に行うとともに、今後の施設利用は、プールの施設の再開を含め、市民の皆様や関係団体などの意見も聞きながら方向性を決定していく。

市長 効率的な事業運営に努めるとともに、財政状況を極める中で、事業費の軽減に努めつつ着実な事業の進展を図っていく。



休止となる水上公園のプール

市の財政危機の原因となる区画整理は見直しを

質問 市民からは、「人口減少の中で、多額の予算を使っているまちづくりの必要性がわからない」等の意見を多く聞く。地権者には反対や批判的な人が相当数いる。「現在の道路を生かしたまちづくり計画」に見直せば、住宅の移動は最小限に止められ、上下水道なども生かせ、予算と住民負担を大幅に減らすことができ。市の減少している歳入構造に見合わない突出した額の区画整理事業は、最優先で市民目線で見直し縮減すべきでは。

市長 効率的な事業運営に努めるとともに、財政状況を極める中で、事業費の軽減に努めつつ着実な事業の進展を図っていく。

市長 効率的な事業運営に努めるとともに、財政状況を極める中で、事業費の軽減に努めつつ着実な事業の進展を図っていく。

■その他の質問
「4年間の私の一般質問などに関連していることの中で、実現に向けて再確認したいこと」



しぎかいカレンダー

●6月定例会の予定●

日	月	火	水	木	金	土
			5/29	30	31	6/1
			陳情メ		議運	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
	本会議			本会議	本会議	
16	17	18	19	20	21	22
	本会議		予特 (補正)	常任委	常任委	
23	24	25	26	27	28	29
					本会議	
30						

- 陳情メ…請願・陳情の6月定例会審議予定分の締切
- 議運…議会運営委員会
- 常任委…常任委員会（総務、経済、厚生）
- 予特（補正）…一般会計等予算審査特別委員会

※会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は6月～

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- 1 **議場で傍聴** —ライブで！
当日、直接議場へおいでください。
- 2 **ケーブルテレビで生中継**
TCN 多摩ケーブルネットワークで、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 **インターネットで録画中継**
開催日の3日後から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 **会議録で読む**
議会終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見ることができます。

羽村市公式サイト

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会



編集後記



【広報委員会委員】
（後列左から）浜中順委員、富松崇委員、大塚あかね委員、中嶋勝委員、印南修太委員、（前列左から）山崎陽一副委員長、小宮國暉委員長、西川美佐保委員

新緑が萌え、花々が咲き誇る春となりました。過日、卒業式に参加させていただきました。小中学校ともに、心のこもった歌声が、胸に響き涙を浮かべました。子どもたちの支え合い励まし合いが、この歌声に凝縮されていると感じ、嬉しく思いました。同時に、子どもたちが「層成長できるように条件整備をする行政の役割の重さを再確認しました。

さて、3月議会では、市の財政状況に関する意見が多くありました。その様子をいかにわかりやすく、この「しぎかいのトビラ」に表現し、市民の皆さんに知っていただけるかが、私たち議員に問われています。

（浜中）
ぜひ、率直なご意見をお寄せください。

発行／羽村市議会 編集／広報委員会
〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
Tel 042(555)1111 (内線412~414、416)



「しぎかいのトビラ」は、再生紙を使用しています。